

特別支援教育エリアサポート事業 エリアサポートモデル校

桐生市立広沢小学校での取組について

群馬県総合教育センター 特別支援研究係

水谷 佳子（元桐生市立広沢小学校 教頭）

桐生市立広沢小学校

学校の教育目標

自ら考え、心豊かで、たくましく、行動する児童の育成

- 進んで学ぶ子(知)
- 心豊かな子(徳)
- 健康でたくましい子(体)
- 広沢を愛する子(地域)

全校児童数 508人(19学級)



平成30年度 東部エリアサポートモデル校

<主な取組>

専門性向上
検討会議

すべての教員
対象研修

専門性向上
研修

保護者向け
講演会

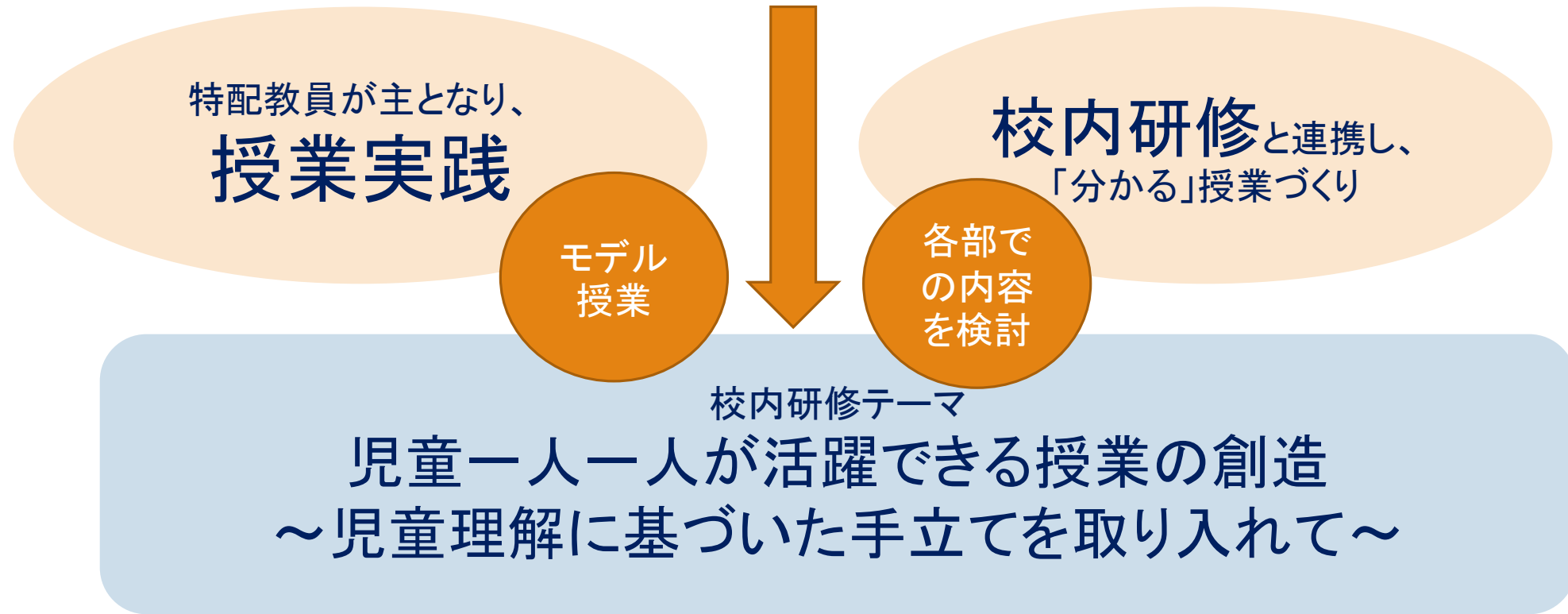
障害理解
教育授業

特配教員による公開授業
「発達障害のあるなしにかかわらず、
児童一人一人が活躍できる授業実践」



- モデル校特配教員 新海 喜美子 教諭 (2年1組担任)
- サポーター 特別支援教育課 宮村奈々江 指導主事
渡良瀬特別支援学校 植木あゆみ 専門アドバイザー

「発達障害のあるなしにかかわらず、 児童一人一人が活躍できる授業実践」



職員全員で共有し、授業改善を目指す

特配教員が主となり、授業実践

公開授業(3回)

- 分かりやすく、学びやすく配慮された教育(基礎的環境整備)
- 「視覚化」「焦点化」「共有化」を意識した教材研究

UD化

6月・算数科
「虫くい算にチャレンジしよう」



実態に応じた
ワークシートを使って

11月・国語科
「かたかなで書くことば」



並び替えのできる
「ことばのつみき」を使って

2月・国語科
「ようすをあらわすことば」



自分の意見を伝える
ホワイトボードを使って

各教科の目標・内容について、義務教育課の指導主事から助言

特配教員が主となり、授業実践

3回の授業実践の成果



- 授業での具体的な手立てが見える！
- 子供たちの変容が見える！

まねしてみよう！ やってみよう！

校内研修と連携

温かく
見守ろう

指示する
言葉は
短くしよう

デジタル
時計を
使おう

掲示物を
整理
しよう

ホワイト
ボードを
使おう

校内研修と連携し、「分かる」授業づくり

授業 研究部

ユニバーサルデザイン化した授業提案
「視覚化」「焦点化」「共有化」を意識した教材研究
授業実践をし、研究会で検討

調査 啓発部

多層指導モデルMIM(読みのアセスメント)での実態調査
漢字・計算コンテストでのがんばりを賞賛し、意欲を高める
毎月13日を「家庭学習支援の日」とし、家庭での学習支援を促す

学習 環境部

児童が学習に取り組みやすい教室環境の提案
児童が過ごしやすい学校環境の提案

特別支援教育部

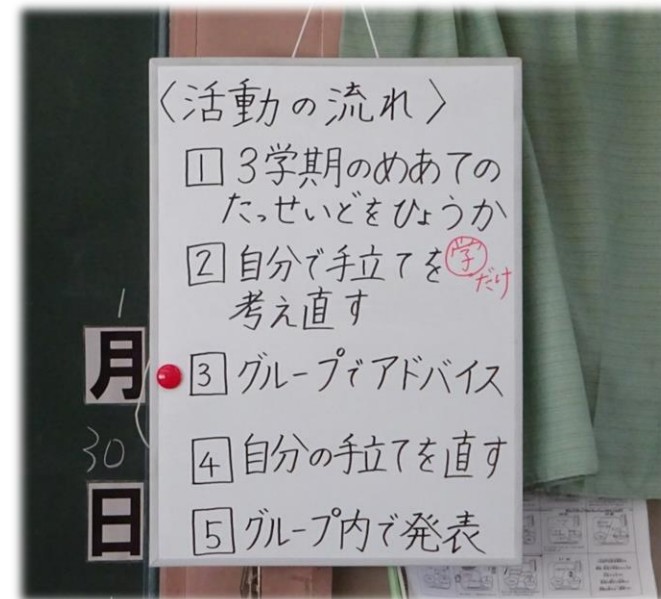
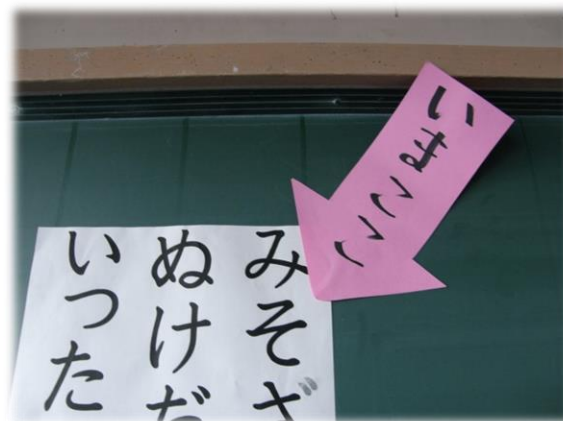
個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成及びケース会議による、個への配慮の検討

授業研究部

見通しをもって取り組む





図工の版画の作業工程を図式化



各学級にホワイトボードを配布し、活動の流れを示した。また、今、どこを学習しているかを示すことで、集中して取り組めるようになった。

調査啓発部

<p>12</p>  <p>しゆくじ しゃくじ しょくじ</p>	<p>11</p>  <p>ほppetた ほppetた ほppetた</p>	<p>10</p>  <p>ごちそ ごちそ ごちそ</p>	<p>22</p> <p>ふくろつのさつまいも</p>	<p>21</p> <p>ミシンマラソンスケート</p>	<p>20</p> <p>きょうみようじぎょうれつ</p>	<p>19</p> <p>かぼちやじよしちよきん</p>	<p>18</p> <p>しっぽきつぷいっぴき</p>	<p>17</p> <p>ぞうこうていうんどうかい</p>
---	---	--	-----------------------------	------------------------------	-------------------------------	------------------------------	-----------------------------	-------------------------------



広沢小では、学習活動の基本である「読み」に着目し、多層指導モデルMIM(ミム)を活用し、読みのアセスメントに取り組んだ。早期発見・早期支援につなげることができた。

学習環境部



授業に集中して取り組めるように教室環境を整えた。

口頭での指示でなく、自分で気付くことができるような支援を取り入れた。

学習環境部



清掃活動も自分で見て、考えて、取り組めるように支援した。



温かな人間関係づくりに気付けるような掲示物

東部エリアサポートモデル校として

「発達障害のあるなしにかかわらず、
児童一人一人が活躍できる授業実践」

専門性向上
検討会議



専門的な立場からの
指導・支援・助言

授業改善

専門性向上
研修



子供たちが生き生きと活動
「できた」「分かった」自己肯定感が高まる